

印が付いた記事は、市のホームページ「高島みてねっと」で、動画がご覧いただけます。

即位1500年 ゆかりの地に熱い視線

継体天皇1500年記念事業展開中！

継体天皇即位1500年記念事業
実行委員会事務局(商工観光課内)
TEL(25)85114
FAX(25)85118

- 9月22日(土) 謎の大王 継体天皇と鉄 鉄づくり体験&ウォーキング
- 9月29日(土)〜30日(日) 高島歴史フォーラム前夜祭 継体朝前夜を観る・語る
- 9月30日(日) 高島歴史フォーラム 継体天皇と古代高島
- 11月25日(日) 謎の大王の実像を探る
- 古代史フォーラム 歴史・伝承・ロマンとしての継体天皇
- 場所 明治大学アカデミーホール(東京)

継体天皇即位1500年記念事業実行委員会では、高島の持つ貴重な歴史文化を内外に発信するため、これまで、継体天皇にまつわる歴史文化の顕彰を行ってきました。今後、「鉄」をテーマにしたワークショップや継体天皇の謎をさぐる歴史フォーラムの開催を始め、継体天皇ゆかりの地である福井県や枚方市と協力して、東京プロモーション(古代史フォーラムの共催)など様々な企画を予定しています。どうぞ皆さんご参加ください。

イメージキャラクター『みおちゃん』誕生

継体天皇即位1500年を記念して、高島市鴨稻荷山古墳のマスコット「みおちゃん」がそのイメージキャラクターとしてリニューアルされました。「みおちゃん」は、高島市の鴨稻荷山古墳で発掘された副葬品を身につけた、古代の三尾氏族の首長をモデルにしたもので、高島市のPRやイメージアップを図ることはもちろん、学校での催し、地区活動のお知らせや子ども会の行事、またお土産づくりや商品開発など、市内外を問わず広く皆さんにご活用いただきたいと思ひます。

キャラクターの使用については、商工観光課(25-8514)または文化財課(32-4467)までお問い合わせください。



みおちゃん

継体連邦関連イベント紹介

福井県坂井市では9月23日(日)に「越の国シンポジウム2007」が開催されます。このシンポジウムでは継体天皇を支えた地域、特に越前における継体天皇の実像に迫るため、日本海文化として展開した古代史にスポットが当たります。詳しくはお問い合わせください。
文化財課 ☎(32)4467

藤樹先生生誕400年祭 マスコットキャラクター

誕生!

来年3月7日から始まる「藤樹先生生誕400年祭」のマスコットキャラクター「よえもん君」が、このほどできあがりしました。

この絵は、伝記まんが『中江藤樹』の著者である漫画家・さいわい徹氏(和歌山県在住)によって、中江藤樹が、かぞえの9歳のとき、祖父とともに米子に住んでいたころの姿をイメージして描いたものです。

☎ 社会教育課 (32)4457



よえもん君

「星山ジャンボリー2007 感動する心」 星野道夫が魅かれた「自然や生命のもつ脆さ」とは

高島市では、毎年「星山ジャンボリー」と題して、写真家の今森光彦さんをホストに絵本作家などとの対談をお聞きし、自然をテーマにした絵本や写真を通じて、身近な自然の再発見とそれを守ることの大切さを広く皆さんにお伝えする取り組みをしています。

今回は、星野道夫事務所代表 星野直子さんをゲストにお迎えし、「星野道夫からのメッセージ」と題して、広大なアラスカを舞台に数々の自然を撮影された星野道夫さんの想いを、お二人の対談を通じて紐解いていただきます。



▼期 日 10月21日(日)

▼内容等

●第1部 フィールドワーク (今津町浜分)

「今森光彦さんの案内で星野直子さんと一緒に石田川を散歩しよう」

時 間 10時〜正午

集合場所 安曇川ふれあいセンター駐車場(雨天決行)

募集人数 80人(先着順)

参加費 800円 (中学生以下は無料)

●第2部 対談

テ ー マ

「星野道夫からのメッセージ」 星野直子(星野道夫事務所代表) 今森光彦(写真家)

時 間 14時〜16時

場 所 (受付13時30分〜) 安曇川ふれあい

センター(ふじのきホール)

募集人数 200人(先着順)

参加費 1,500円 (中学生以下は無料)

▼申込方法

10月12日(金)までに電話またはFAXで

びわ湖・里山の観光振興の核に 市内の6観光協会 統合契約書に調印



市内6つの観光協会の統合契約書調印式が、7月31日、マキノ町のホテルで、各観光協会の役員出席のもと厳粛に行われました。式典では、今日までの経緯説明のあと、海東市長が立会人となり、6観光協会の会長により統合契約書に署名調印され、11月1日に「びわ湖高島観光協会」として統合されることになりました。

統合により、高島市へ訪れる年間350万人もの観光客の受け入れ態勢がより一層充実されるとともに、自然や文化を生かした新たな魅力の創出が期待されます。

6つの観光協会が統合されることにより、仮の本所は、新旭町藁園の旧新旭幼稚園に置かれ、旧町村ごとにある観光協会の事務所は、支所とすることが決まりました。

☎ 高島市内観光協会合併準備室

☎(25)6010

FAX(25)6020

(商工観光課)

- ①参加者氏名 ②住所 ③年齢 ④電話番号 ⑤参加される部(1部・2部・両方) ⑥交通手段(自家用車・JRなど)を明記

☎ 申政策調整課

☎(25)8114

FAX(25)8156

「星野道夫」 1952年千葉県に生まれる。慶応義塾大学卒業後、動物写真家・田中光常氏に師事。1978年語学取得のため渡米、同年アラスカ大学入学。以後、アラスカを生活の基盤にして撮影・執筆活動をする。1996年カムチャッカ半島にてヒグマの事故により急逝。1990年木村伊兵衛賞受賞。